

## ■ 機 関 紹 介 ■

### 1. 組織概要

当社は、1965年に不動産仲介業、燃料小売業を行う会社として神奈川県に発足した。日本が高度経済成長を続ける時代に、大気、水質汚染をはじめさまざまな公害が社会問題となっている中、環境測定・調査の必要性に 대응すると同時に、地域社会への発展・貢献を目指すことを目的とし、1973年に日本環境調査センターを吸収した。その後は近年高まる作業環境測定への需要に対応すべく、社内では作業環境測定士の資格取得を推奨し、有資格者を増員、また育成し、測定に対する多様なニーズに対応できるよう取り組んでいる。また、県内の水がめとして利用されている相模川をきれいにする会に加入し地域環境の保全に貢献できる企業を目指し、業務を行っている。

### 2. 沿革

1965年 (有)相新設立  
 1970年 有限会社から株式会社へ変更  
 1973年 (株)日本環境調査センターを吸収  
 1977年 作業環境測定機関登録  
 1986年 計量証明事業登録 濃度  
 1989年 計量証明事業登録 音圧レベル  
 1995年 計量証明事業登録 振動加速度レベル  
 2000年 (株)相新 日本環境調査センターに商号変更  
 2002年 ISO9001登録  
 2003年 環境省土壤汚染対策法指定調査機関登録  
 2004年 ISO14001登録

### 3. 業務内容

・作業環境測定（粉じん、有機溶剤、特定化学物質、金属、騒音）

- ・局所排気装置の定期自主検査
- ・土壤汚染状況調査
- ・計量証明事業（濃度、音圧レベル、振動加速度レベル）
- ・臭気測定
- ・建築物衛生法（飲料水、空気環境）

### 4. 作業環境測定の実施状況

当社には21名の作業環境測定士（うち第1種が15名）が在籍している。2019年度に測定を実施した測定対象事業数は436、延べ単位作業数は4053であり、その内訳は粉じん12.5%、有機溶剤50.8%、特定化学物質25.7%、金属類4.4%、騒音6.6%であった。

また、局所排気装置の自主点検業務の代行や、事務所別測定、シックハウス・シックスクールの測定業務も行っている。

### 5. おわりに

いま社会は働き方に対する変革の時を迎えている。労働人口が減少していく中、産業用ロボットによる自動化や、AIを使用した生産管理などを導入してい

く企業が増えている。また一方、どうしても人の手に頼らざるを得ない工程があるのも事実である。労働者の安全を確保すべく有害物質取り扱い規制が整備され、企業にはコンプライアンスが求められている。我々はすべての企業の安全な職場環境づくりの手助けができるよう日々測定技術の向上に努め、労働者のための測定を心がけて業務に取り組み、より良い労働環境が作れる社会を実現できるよう、まい進していきたい。



株式会社相新  
日本環境調査センター

<https://www.soshin-kankyo.com/>